

# QuarkXPress起動時・使用中に タイプエラーが警告されたら…



「タイプ1エラー」「タイプ2エラー」「タイプ10エラー」「タイプ11エラー」などというメッセージが警告され、QuarkXPressが起動できなくなったり、強制終了することがあります。ここではQuarkXPress使用上で特にわかりやすいタイプエラーに関して、回避・解消するためのいくつかの方法をご紹介します。

タイプエラーとはMacOSから警告されるメッセージです。アプリケーションとOSとの間に起こった問題の原因を解決していくことが重要です。

## 1. タイプ2エラーの場合

タイプ2エラーはお使いのフォントに問題がある時に警告されることのあるメッセージです。

### 1. インストールしたフォントを全て外す

まず、システムフォルダ内のフォントフォルダにあるフォントの中からインストールして追加したフォント(Type 1 Font)を外してください。(AdobeTypeManagerDeluxe(ATM)でフォント管理をされている場合は登録を解除してください)その方法として、デスクトップ上に「新しいフォルダ」を作成していただき、その中へインストールしたフォントを移動してください。osakaなどのシステムで使用しているフォント(TrueTypeFont)は移動できないのでご注意ください。

インストールしたフォントを移動する際に「このフォントは破損しているため移動できません…」というメッセージが警告されましたら、そのフォントは破損しておりますので、各フォントメーカーの推奨する方法でアンインストール後に再インストールをしてください。再インストール後にQuarkXPressを起動しタイプ2エラーがまだ警告される場合は「2.インストールしたすべてのフォントが移動できた場合」の説明にお進みください。

### 2. インストールしたすべてのフォントが移動できた場合

インストールしたフォントがすべて外されている状態で、QuarkXPressを起動しタイプ2エラーが警告されるかご確認ください。まだ警告される場合は「3.インストールしたフォントを移動してもQuarkXPressが起動・使用できない場合」の説明にお進みください。

インストールしたフォントが外されている状態でQuarkXPressが問題なく起動・使用できる場合は、デスクトップ上の「新しいフォルダ」へ移動していただいたフォントに問題があると考えられます。フォント数が多い場合などは、その中の半分のフォントをフォントフォルダへ戻しQuarkXPressが起動・使用できるかお試しください。もし起動できれば「新しいフォルダ」に残ったフォントの中に、起動・使用できない場合は移動していただいたフォントの中に破損フォントがあると考えられます。

これらの作業を繰り返しながら破損フォントを探していただき、各フォントメーカーの推奨する方法でアンインストール後に再インストールをしてください。

### 3. インストールしたフォントを移動してもQuarkXPressが正常に起動・使用できない場合

インストールしたフォントを移動してもタイプ2エラーが警告される場合は、OS標準のシステムフォントに問題のある可能性があります。その場合はOSのCDよりシステムフォントを再インストールしていただくか、OS自体の再インストールをお試しください。それらのインストール後にQuarkXPressを起動・使用して問題なければ、デスクトップ上の「新しいフォルダ」に移動していただいているインストールされたフォントをフォントフォルダにお戻し下さい。

弊社ウェブサイトではテクニカル情報を随時更新しております。

QuarkXPress4.1/3.3 テクノロジーデータベース  
<http://japan.quark.com/techdb/index.html>

無償Eメールサポート

[http://japan.quark.com/service/desktop/cust\\_service/05e\\_supt.html](http://japan.quark.com/service/desktop/cust_service/05e_supt.html)

MacOS8.6ユーザーの方へ

## ご注意

特定の環境において、Mac OS 8.6 の Font Manager がアプリケーションやフォントの中に破損リソースを作成してしまいます。この問題が起きると、破損リソースのフォントを移動できず、アプリケーションやサードパーティ製のフォント管理ツールがクラッシュすることがあります。この問題が発生した場合、破損フォントを再インストール後にAppleホームページよりFont Manager Updateをダウンロードして下さい。

[http://www.apple.co.jp/ftp-info/reference/font\\_manager\\_update.html](http://www.apple.co.jp/ftp-info/reference/font_manager_update.html)

## 2. タイプ1エラー、タイプ10エラー、タイプ11エラーの場合

「タイプ1」「タイプ10」「タイプ11」といったエラーは、MacOSの機能拡張や設定に問題がある場合に警告されることがあります。まず機能拡張にコンフリクトがないか確認するために、

- OS純正の機能拡張 (お客様が機能拡張を追加しない状態)
- QuarkXPressに必要な機能拡張

だけを有効にしてQuarkXPressに問題が起きるかをご確認下さい。その方法は以下のものになります。コントロールパネル内の機能拡張マネージャーにて、セットを「OS基本」にしウインドウの右下にある「セットを複製」ボタンを押して「OS基本のコピー」に変更して下さい。次にQuarkXPressに必要なドライバ類(ハードウェアキーに関するもの)だけを有効にしてMacintoshを再起動後にQuarkXPressを起動して下さい。



この設定で起動できるようになりましたら、お客様独自で設定された機能拡張とコンフリクトがあった可能性があります。このまま「OS基本のコピー」セットは変更せずに、お客様独自の機能拡張マネージャーを再設定しながらコンフリクトが発生しないかをご確認下さい。

※省略時セットは動作不安定になることがございます。今後、セットを作られる際には「OS基本」のセットを「複製」して、機能拡張マネージャーを設定して下さい。

## 3. その他にご確認していただきたいこと

お客様がお使いしているQuarkXPressが不安定な時に、MacOSの設定に問題がある場合がございます。以下の設定に該当するものがないかをご確認下さい。

- 仮想メモリは「切」になっていますか?  
(QuarkXPressは仮想メモリを使用すると動作が不安定になることがあります。「切」にしてください)
- MacOSのシステムメモリへの負荷は大きくないですか?  
(システムメモリへの負荷が大きくなると動作不安定になることがあります。これはOSに直接かかる負荷なのでメモリを増設しても解消されません。負荷を軽減して下さい)
- QuarkXPressの割り当てメモリは適切ですか?  
(ファイルを開いた状態で、QuarkXPressのグラフが全体の半分以下になるようにメモリを割り当ててください)



※MacOSシステムメモリの負荷は「機能拡張」「フォント」「ドライバ類」などを減らすことで軽減できます。